

保育計画成果報告書

法人名	社会福祉法人純心会
施設名	空港保育園
報告者（役職）	平城まき（園長）
住所・連絡先	熊本県上益城郡益城町安永 1213 番地 2
	☎ 096-289-1111 FAX 096-289-7777
	E-mail kuukouhoikuen@spice.ocn.ne.jp

○タイトル（保育計画）

笑顔いっぱい、元気いっぱい、空港っ子！

○主な助成備品

- ・巧技台一式（跳び箱・マット・平均台・他） ・バルーン
- ・0歳児用室内マット遊具 ・スクーター、スクーター立て

1. 保育計画策定の目的

開園一年目（平成 27 年 4 月 1 日開園）と言う新設園の為、広い園庭や室内を活用できる運動用具等の整備が出来ていないのが現状であった。

毎週 1 回幼児体育指導者による運動を保育計画の中に位置づけ保育士も同時に学び日々の保育の中で実践していく。「やりたい」「やってみたい」と言う子どもの気持ちを引き出し、子どもの自発性や意欲に添い体育あそびを体験して親しむことで心身の発育、発達及び基本的生活習慣も身につけることができる。

子どもが楽しく身体を動かす時間や多様な動きが経験できる環境を整えてやることが第一と考える。各年齢に応じて計画を立てる。子ども達は身体を動かして運動(あそび)をすることが大好きである。運動(あそび)を通して思考力や表現力、道徳性の様々な力が芽生え養っていくことを目的とする。子ども達の健康増進とともに日々の運動あそびを通しての体力作りと子どもの身体(体幹)づくり、そして子どものやる気から自信につながるようにと環境も大いに活かしつつ、保育計画を考えている。

0歳児用室内マット遊具で遊んでいる様子です。



ヤッター！

ヨイショ！ヨイショ！

2. 具体的な実施内容

毎週1回講師による体育教室実施、運動遊具を使用した年間取組み計画を立てる。安全な使い方、実施方法を子どもたちと共に保育士も学び、日常の保育の中に生かした年間計画、月間計画の中に取り組むことを記載し計画を立て実施する。(各年齢別に計画することを入れ込んでいく。)

積み重ねたことを運動会や生活発表会の中で保護者に披露する機会を作り子ども達の成長した姿を見てもらうよう計画する。



第二回空港保育園のうんどう会で
3,4,5 歳児は寄贈品を使用した運動
あそびをしました。
下の写真は日常の保育で使っている
様子です。



3. その成果と評価

運動遊具を使い体育的遊びを充実した事で子ども達に多く見られる転倒が少なくなっている。運動場での遊びも固定遊具に登る、とぶ、すべる、くぐる等身のこなしがスムーズになりつつ自分で自分の身体を支えるなどコントロールできてきていることを朗かに感じる。

しっかり身体を動かすことでよく食べ、よく眠るなど日常の生活への成果がみられ食育活動や情緒の安定にもつながっていることを感じる。

運動会や発表会にて保護者への成果(子どもの成長)を見て頂く機会を作っているが大きく成長した姿、やってみようと挑戦する姿、出来たと自信にあふれた表情を見て喜

んでもらっている。小学生より意欲的で頑張って挑戦している姿に感動すると感想を頂き好評である。

4. 今後の課題と展望

〈 課題 〉

今の良い点（取組）を継続していき、一人ひとりの体育的な目標を前年度よりひとつランクを上げて楽しみながら身につけていくようにと考えていく。

職員一人ひとりが各年齢の発達や育ちをよく観察して考え、日常の保育計画の中に立案して、月案、週案に組み込んでいけるようにすることと、一人ひとりの子どもの育ちをしっかり把握していくことが課題である。

〈 展望 〉

開園一年、二年が過ぎようとする今、3歳以上児に体育遊具を使用する機会が多く充実もし、子どもたちの成長する姿も充分に見えつつあるが、未満児クラス0～2歳児にどう使用し発達を促していくのか、それを遊びの中に計画することで3歳以上児になってからの子ども達の姿〈大きな変化〉が見られるのが展望である。

職員みんなで保育計画をもう一度見直し、年間・月間そして週案と体育あそびが園独自のものとして明確になるように取り組みたいと考える。

以上